【FdData 中間期末：中学歴史：戦後】

[冷たい戦争]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[国際連合]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～F で誤っているものを 2 つ選び，正しい語句に直せ。

1945 年，連合国は，二度の世界大戦の反省から，A アメリカの B ニューヨークに本部を置く C 国際連盟をつくった。C には，世界の平和と安全を維持する機関として D 安全保障理事会が設けられ，E アメリカ・イギリス・ドイツ・ソ連・中国が F 常任理事国になった。

[解答]C 国際連合，E アメリカ・イギリス・フランス・ソ連・中国
※出題頻度：「国際連合◎」「アメリカのニューヨーク〇」「安全保障理事会〇」「常任理事国：アメリカ・イギリス・フランス・ソ連・中国〇」

[問題](前期期末)

次の文中の①～⑤に適語を入れよ。

連合国は，2 度の世界大戦への反省から，1945 年に(　①　)(国名)の(　②　)(都市名)に本部を置く(　③　)をつくった。(③)には，世界の平和と安全を維持する機関として，(①)，
イギリス，(　④　)，ソ連，中国の 5 か国を，拒否権を持つ常任理事国とする(　⑤　)会が設けられた。

[解答]① アメリカ　② ニューヨーク　③ 国際連合　④ フランス　⑤ 安全保障理事

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

(1) 2 つの大きな大戦の反省に立ち，1945 年に発足した国際機関を書け。

(2) (1)の本部は何という国の何という都市にあるか。

(3) (1)の中心組織の 1 つで，世界の平和と安全を維持することを任務とする理事会は何か。

(4) (3)の理事会の中で拒否権を持つ 5 つの国を何というか。

(5) (4)の 5 つの国の名前を答えよ。

[解答](1) 国際連合　(2) アメリカのニューヨーク　(3) 安全保障理事会

(4) 常任理事国　(5) アメリカ, イギリス, フランス，ソ連，中国

[冷戦の始まり]

[問題](要点把握)

　次の下線部A〜Gで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。

　第二次世界大戦後，ソ連が東ヨーロッパ諸国を支配したのに対抗して，A アメリカを中心とする資本主義の西側陣営は1949年にB 北太平洋条約機構(略称はC NATO)を結成した。D ソ連を中心とする共産主義の東側陣営は1955年にE モスクワ条約機構をつくった。1961年に東ドイツが西ドイツの飛び地である西ベルリンを取り囲むようにF ベルリンの壁を築いた。このような両陣営の厳しい対立はG 冷たい戦争(冷戦)と呼ばれた。

[解答]B 北大西洋条約機構,
E ワルシャワ条約機構
※出題頻度：「冷たい戦争(冷戦)◎」「アメリカを中心とする資本主義の西側△」「北大西洋条約機構(NATO)◎」「ソ連を中心とする共産主義の東側△」「ワルシャワ条約機構◎」「ベルリンの壁〇」

[問題](前期期末)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

二度の世界大戦の反省から，世界の平和と安全を守るため 1945 年に国際連合が設立された。しかし連合国間の協調は長くは続かなかった。アメリカを中心とする資本主義の西側諸国は，1949 年に(　①　)(略称は NATO)という軍事同盟を結んだ。これに対し，ソ連を中心とする共産主義の東側諸国は，1955 年に(　②　)を結んだ。このような東西の対立は，新たな世界大戦が発生しかねないほど厳しい対立であったが，米ソの直接の軍事衝突にまでは至らなかったので，(　③　)と呼ばれた。戦後，ドイツは西ドイツ(資本主義)と東ドイツ(共産主義)に分割されていたが，1961 年に東ドイツが西ドイツの飛び地である西(　④　)を取り囲むように(④)の壁を築いた。

[解答]① 北大西洋条約機構　② ワルシャワ条約機構　③ 冷たい戦争(冷戦)　④ ベルリン

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 次の文中の①～④の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

第二次世界大戦後，連合国は世界平和をめざして国際連合をつくったが，現実には，アメリカを中心とする①(資本／共産)主義の②(東側／西側)陣営と，ソ連が率いる

③(資本／共産)主義の④(東側／西側)陣営にわかれて対立した。

(2) (1)の 2 つのグループの厳しい対立を何と呼んだか。

(3) アメリカを中心とした軍事同盟を何というか。正式名称と略称の両方を答えよ。

(4) ソ連が中心となって結成した軍事同盟を何というか。

(5) 1961 年に東ドイツが西ドイツの飛び地である西(　X　)で東側から西側に逃亡する国民が増えたため，1961 年，東ドイツは西(X)を取り囲むように(X)の壁を築いた。X にあてはまる適語を答えよ。

[解答](1)① 資本　② 西側　③ 共産　④ 東側　(2) 冷たい戦争(冷戦)　(3) 北大西洋条約機構, NATO　(4) ワルシャワ条約機構　(5) ベルリン

[中華人民共和国の成立]

[問題](1 学期中間)

　次の文中の①，②に適語を入れよ。

　中国では，日本の敗戦後，国民党と共産党との間で内戦が再発し，共産党が勝利して国民党の蔣介石は台湾にのがれた。共産党は 1949 年に(　①　)を主席とする(　②　)を建国した。

[解答]① 毛沢東　② 中華人民共和国

※出題頻度：「毛沢東○」「中華人民共和国○」「蔣介石△」「台湾△」

[問題](1 学期期末)

中国について，次の各問いに答えよ。

(1) 国民党との内戦に勝利した共産党の指導者(右図)の名前を答えよ。

(2) (1)を国家主席とする，1949 年に成立した国家の正式名称を答えよ。

(3) ①内戦に敗れた国民党は何という島に逃れたか。②また，そのときの国民党の指導者の名前を答えよ。

[解答](1) 毛沢東　(2) 中華人民共和国
(3)① 台湾　② 蔣介石

[朝鮮半島の分断]

[問題](1 学期中間)

　朝鮮は，北緯 38 度の線を境に，北をソ連に，南をアメリカに占領され，1948 年に 2 つの国に分かれた。①北側，②南側はそれぞれ何という国になったか。正式国名で答えよ。

[解答]① 朝鮮民主主義人民共和国

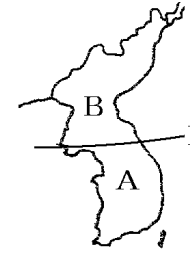
② 大韓民国

※出題頻度:「南はアメリカが占領△→大韓民国○」「北はソ連が占領△→朝鮮民主主義人民共和国○」「北緯 38 度△」

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 朝鮮は日本の敗戦で植民地支配から解放されたが，北と南を異なる国に占領された。右図のA，Bを占領した国をそれぞれ答えよ。



(2) 朝鮮を南北に分断していた右図のXは北緯何度の緯線か。

(3) 1948年にA，Bに成立した国の名前を正式名称でそれぞれ答えよ。

[解答](1)A アメリカ　B ソ連　(2) 北緯38度　(3)A 大韓民国　B 朝鮮民主主義人民共和国

[朝鮮戦争]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Gで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。

A1950年，B北朝鮮が韓国に侵攻してC朝鮮戦争が始まった。C戦争が起こると，Dアメリカは大量の軍需物資を日本に発注した。そのため，日本経済は不景気から回復し，復興を早めることができた。これをE特需経済という。また，在日アメリカ軍がC戦争に出兵すると，GHQの指令で国内の治安維持のためにF保安隊がつくられた。それはしだいに強化され1954年にはG自衛隊になった。

[解答]E特需景気，F警察予備隊

※出題頻度：「朝鮮戦争◎」「特需景気◎」「アメリカが大量の軍需物資を日本に発注した○」「警察予備隊◎→自衛隊○」

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 1950 年に，北朝鮮が武力統一をめざして韓国に侵攻して始まった戦争を何というか。

(2) (1)の戦争が日本に与えた影響としてあてはまらないものをア～エの中から 1 つ選び，記号で答えよ。

ア　アメリカが大量の軍需物資を日本に発注したことで，特需景気と呼ばれる好景気をもたらした。

イ　治安維持のために警察予備隊がつくられ，後に自衛隊になった。

ウ　アメリカ軍と共に国連軍として韓国を支援した。

エ　日本の米軍基地が使用された。

[解答](1) 朝鮮戦争　(2) ウ

[問題](前期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 朝鮮戦争の影響により，日本経済は好景気になり経済復興が早まったが，この好景気を何というか。

(2) 好景気になった理由を「軍事物資」「調達」という語句を使って答えよ。

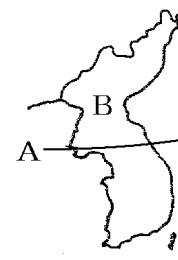
(3) 在日アメリカ軍が朝鮮戦争に出兵したことに伴い，国内の治安維持のためにGHQの指令で作られた組織は何か。

(4) (3)はしだいに強化され1954年には何という組織になったか。

[解答](1) 特需景気　(2) アメリカが戦争に必要な軍事物資を日本で調達したから。　(3) 警察予備隊　(4) 自衛隊

[問題](1 学期中間)

右の地図を見て，次の各問いに答えよ。



(1) 分割占領する時に使われた，地図中 A の緯線は何度の緯線か。

(2) 地図中 B の国が武力統一をめざして南下したことをきっかけにして始まった戦争を何というか。

(3) (2)の戦争が起こったのは何年か。

(4) (2)の戦争が起こると，アメリカは大量の軍需物資を日本に発注し，日本経済は好景気となり，経済復興が早まった。この好景気を何というか。

(5) (2)の戦争が起こった年に，GHQ の指示で治安維持のために設けられた組織は何か。

(6) (5)の組織は，その後強化され 1954 年に何という組織になったか。

[解答](1) 北緯 38 度　(2) 朝鮮戦争
(3) 1950 年　(4) 特需景気
(5) 警察予備隊　(6) 自衛隊

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
このPDFファイルは,FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で,印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は,実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため,出題傾向の90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com